

2021年度 第4回 分野別公開講座

大学との連携による 地域情報と医療情報の未来

2022年3月8日(火) 18:00~20:00 (17:45~受付)

ハイブリッド開催:会場およびオンライン(Zoom)でご参加いただけます

会場:福知山公立大学2号館1階コラボスペース/京都府福知山市字堀3370

参加
無料

マスク着用、手指アルコール消毒、検温など、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。
状況によっては、開催時間の短縮もしくは会場での開催を中止し、オンライン開催のみに変更する場合があります。

第1部

病院を持たない大学が医療情報で地域と連携する?

福知山公立大学には医学部も附属病院もありません。よって診療の情報そのものを扱うことができません。しかし、地域のために大学が提供できる医療情報はあります。どの病院がどのような診療に長けていて、どのような時に頼りになるのかという情報は地域で生活する方々にとって重要でしょう。一般公開されているデータでも組み合わせや角度を変えて分析すると、見えるものがあります。それは地域にとって価値ある情報かもしれません。その一端をご紹介します。医療情報を通じた地域と大学の連携について考えたいと思います。

プロフィール

1971年北海道の阿寒湖畔に生まれる。大阪大学医学部保健学科放射線技術科学専攻卒業、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻修了(保健学修士)。医療法人錦秀会(大阪)にて、法人内7病院の医療情報システム開発、導入、運用管理に従事。2008年、医療情報システム専門職、病院事務職養成の必要性を実感し大学教員へ転職。福知山公立大学では主に医療情報、医療管理、医療統計の教育を担う。診療放射線技師、診療情報管理士、上級医療情報技師。



福知山公立大学
地域経営学部
准教授 星 雅文
まさたけ

第2部

公立大で北都の未来はどう変わるのか?

みなさんは「10年後の京都北部地域」と聞いてどのような姿を期待しますか?私たち市民が望む未来像を共有し、具体的に行動すれば、それはきっと実現します。福知山公立大学に情報学部が創設されて2年、未来の街づくりに必須の「若い学生たち」と「最先端の情報技術をもった先生たち」が集まりつつあります。この講演では、私たちのゼミの取り組みの紹介を通じて、目指したい「10年後の京都北部地域」の構想をお伝えしたいと思います。

プロフィール

1994年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了、博士(工学)。同年、通商産業省工業技術院電子技術総合研究所。2000年スタンフォード大学客員研究員。ソニーアメリカ、JR東日本企画等民間企業との併任経験を経て、2007年慶應義塾大学大学院法務研究科(法科大学院)修了。法務博士(専門職)、2008年産業技術総合研究所サービス工学研究センター、2015年同研究所人間情報研究部門主任研究員、2020年より福知山公立大学教授。



福知山公立大学
情報学部
教授 山本 吉伸
よしのぶ

お申し込みは▶

Google
フォームから



メール(kita-re@fukuchiyama.ac.jp)・FAX(0773-24-7152)でのお申し込みも可能です。以下を記載してお送りください。

- ① 氏名(必須)
- ② FAX番号or メールアドレス(必須)
- ③ 電話番号(必須)
- ④ 会場参加・オンライン参加のどちらを希望するか(必須)
- ⑤ 性別、年齢、住所、勤務先・学校名等

会場定員25名程度

定員に達し次第、オンライン参加のみの受付となります。

主催: 福知山公立大学北近畿地域連携機構(Kita-re)市民学習部